

# 2023年3月期 決算説明資料


2023年5月26日

東証プライム： 6333



株式会社 帝国電機製作所

1. 2023年3月期決算
2. 2024年3月期業績見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 環境にやさしい当社の事業
5. ご参考資料



世界中の様々な場所で活躍している  
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの  
リーディングカンパニーです

# 1. 2023年3月期決算



株式会社 帝国電機製作所

# 2023年3月期決算概要



株式会社 帝国電機製作所

## ●円安効果もあり、過去最高売上と利益を達成

(百万円)	2022年3月期	構成比 (%)	2023年3月期	構成比 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	22,244	100.0	<b>28,450</b>	100.0	+6,206	+27.9
売上原価	13,192	59.3	<b>16,377</b>	57.6	+3,185	+24.1
売上総利益	9,052	40.7	<b>12,073</b>	42.4	+3,020	+33.4
販売費及び一般管理費	6,557	29.5	<b>7,049</b>	24.8	+492	+7.5
営業利益	2,494	11.2	<b>5,023</b>	17.7	+2,528	+101.4
経常利益	2,953	13.3	<b>5,472</b>	19.2	+2,518	+85.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,987	8.9	<b>3,996</b>	14.0	+2,008	+101.1

## 増収増益：過去最高売上・利益を達成

### 売上高

- ・ポンプ事業は、高水準の受注残高に加え、円安によるプラス影響等により増収。中国、米国、日本を中心に全体としても好調であった。
- ・電子部品事業は、緩やかな回復傾向。電子部品不足は改善傾向ではあるが不安定な状況が続いている。

### 営業利益

- ・ポンプ事業における売上ボリュームの増加や円安によるプラス影響、及び主に中国における好調な受注環境を背景とした利益率改善等により増益。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

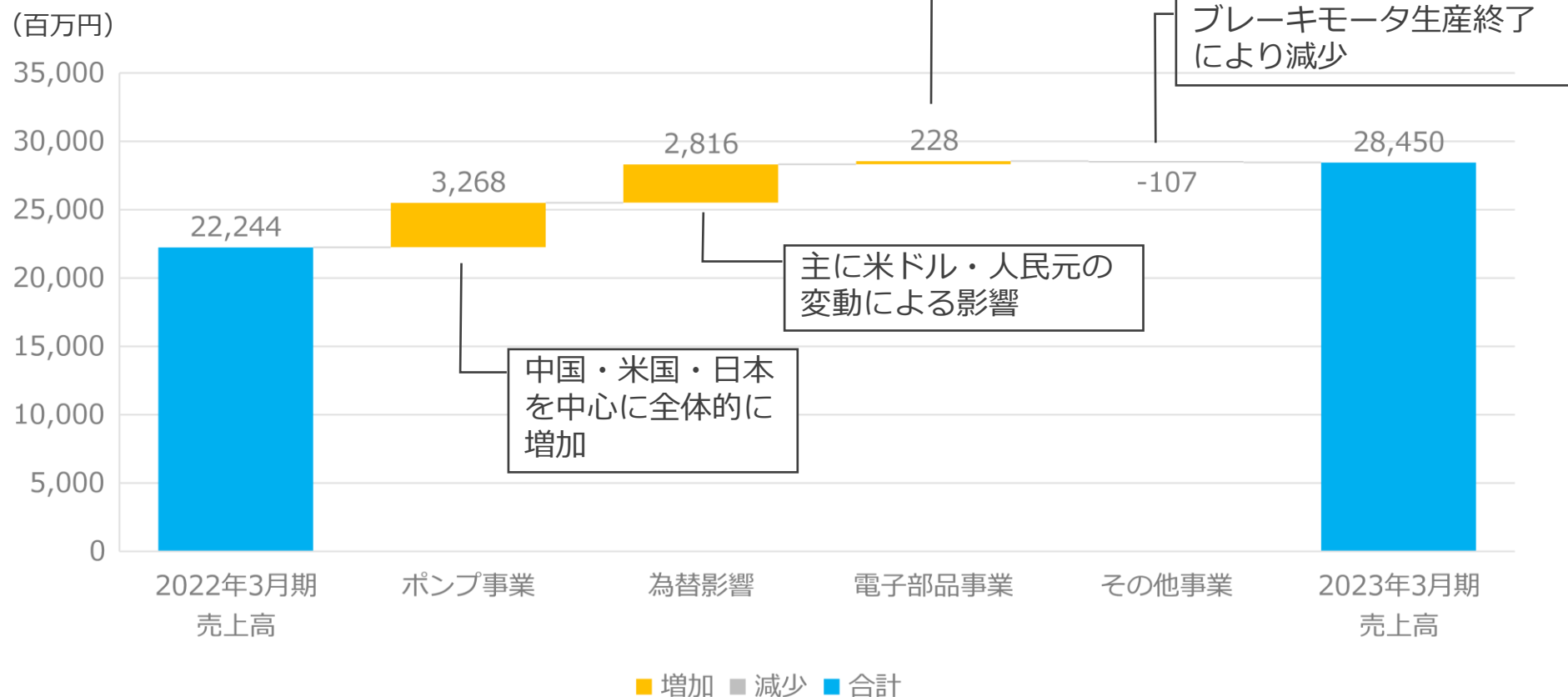
- ・営業利益の増加により経常利益が2,518百万円増加したこと及び政策保有株式の一部売却で204百万円の特別利益が発生したこと等により増益。

# 売上高増減分析



株式会社 帝国電機製作所

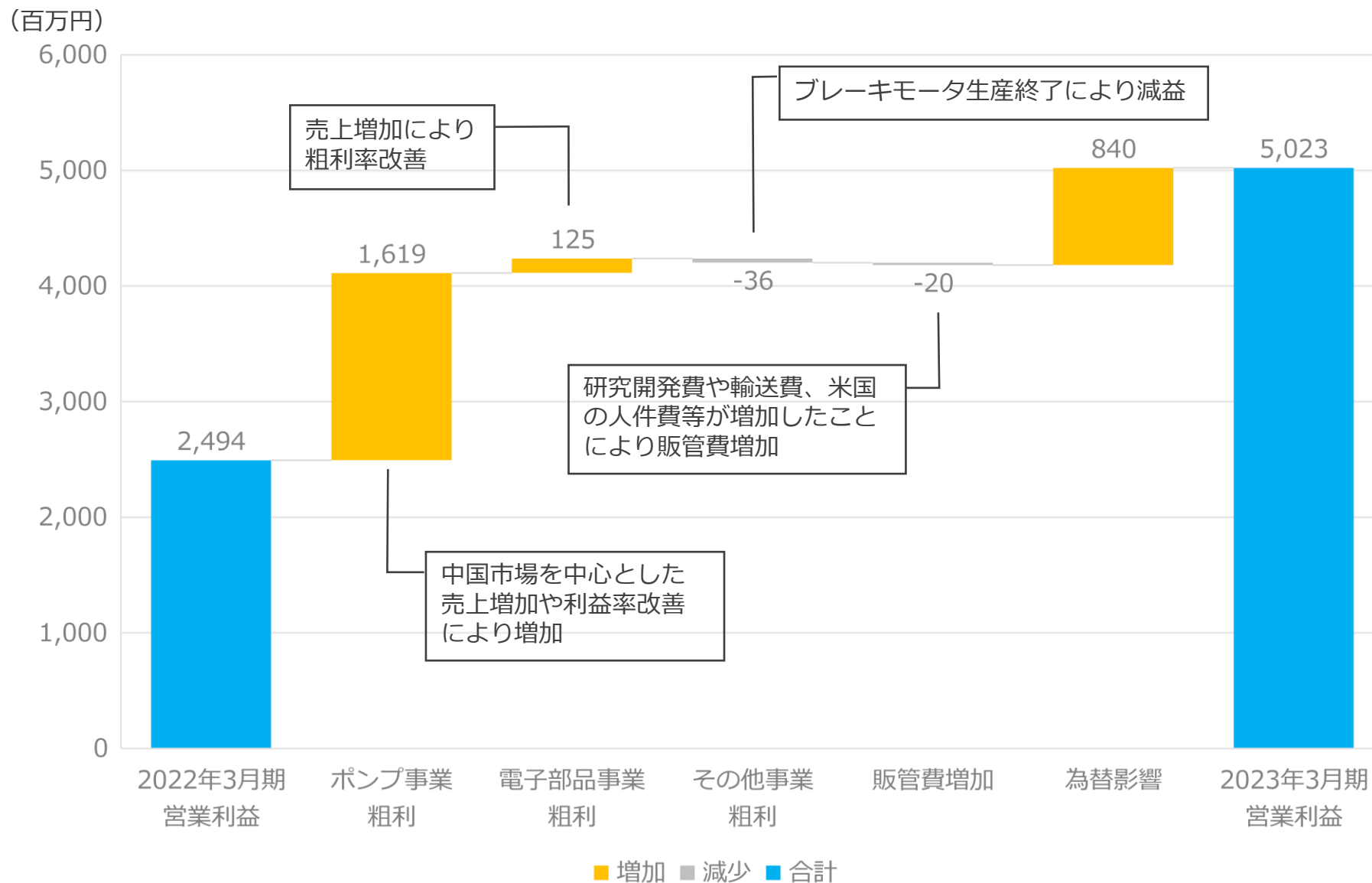
期中平均レート推移	2022年3月期	2023年3月期
USドル	109.9円	131.6円
人民元	17.0円	19.5円
ユーロ	129.9円	138.2円



# 営業利益増減分析



株式会社 帝国電機製作所



# 種別別セグメント（売上高・営業利益）



株式会社 帝国電機製作所

(百万円)		2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率
ポンプ事業	売上高	20,365	<b>26,451</b>	+6,085	+29.9%
	営業利益 (営業利益率)	2,443 (12.0%)	<b>4,884 (18.5%)</b>	+2,441	+99.9% (+6.5%)
電子部品事業	売上高	1,528	<b>1,757</b>	+228	+15.0%
	営業利益 (営業利益率)	19 (1.3%)	<b>115 (6.6%)</b>	+96	500.5% (+5.3%)
その他	売上高	350	<b>242</b>	▲107	▲30.8%
	営業利益 (営業利益率)	32 (9.2%)	<b>22 (9.3%)</b>	▲9	▲29.5% (+0.1%)
合計	売上高	22,244	<b>28,450</b>	+6,206	+27.9%
	営業利益 (営業利益率)	2,494 (11.2%)	<b>5,023 (17.7%)</b>	+2,528	+101.4% (+6.5%)



- 日 本・・・高水準の受注残高を背景に増収。主にケミカル向けが堅調。
- 欧 米・・・米国はケミカル向けや冷凍・空調機器向けが堅調に推移したことに加え、為替影響もあり増収。
- アジア・・・中国は高水準の受注残高を背景にケミカルや車両向けを中心に好調に推移したことに加え、為替影響もあり増収。

(百万円)		2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率
日本	売上高	6,679	7,372	+693	+10.4%
欧米	売上高	4,901	6,914	+2,012	+41.1%
アジア	売上高	8,785	12,164	+3,379	+38.5%
合計		20,365	26,451	+6,085	+29.9%

※販売元が基準（外部顧客に対する売上でセグメント間を除く）

## ●主にケミカル機器用が増加

(百万円)	2022年3月期	比 率 (%)	2023年3月期	比 率 (%)	増減	増減率 (%)
ケミカル機器用	10,960	53.8	15,547	58.8	+4,587	+41.9
冷凍機・空調機器用	2,115	10.4	2,193	8.3	+77	+3.7
電力用（車両用）	492	2.4	903	3.4	+410	+83.4
電力用（地上用）	538	2.6	686	2.6	+147	+27.5
定量注入機器	457	2.3	468	1.7	+11	+2.5
その他ポンプ	240	1.2	392	1.5	+151	+63.0
メンテナンス	5,561	27.3	6,259	23.7	+698	+12.6
合計	20,365	100.0	26,451	100.0	+6,085	+29.9

●ポンプ受注は中国を中心に全体としても堅調に推移した

(百万円)	2022年3月期		2023年3月期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ポンプ事業	23,430	10,766	28,304	12,620	+4,874	+1,853
電子部品事業	1,541	178	1,723	144	+181	▲33
その他	322	116	233	106	▲89	▲9
合計	25,294	11,061	30,261	12,871	+4,966	+1,810

● 総還元性向100%により、自社株取得と消却の実施を継続

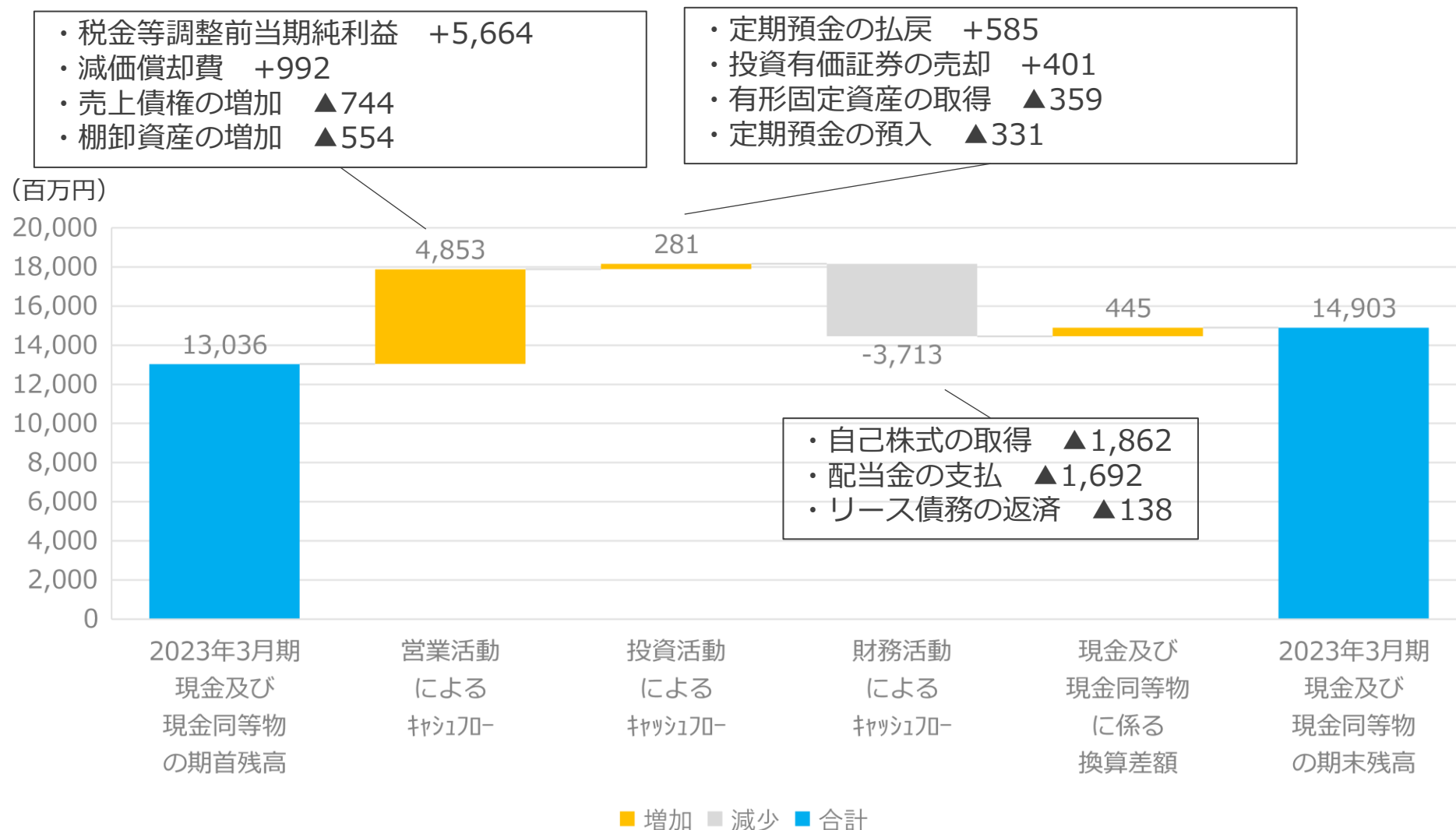
(百万円)


資産の部	2023年3月期	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>30,940</b>	+ 2,841
現預金	<b>16,141</b>	+ 1,699
受取手形、売掛金 及び契約資産	<b>7,689</b>	+ 1,085
電子記録債権	<b>1,231</b>	▲ 47
製品・仕掛品 原材料・貯蔵品	<b>6,024</b>	+ 813
<b>固定資産</b>	<b>10,656</b>	▲ 245
有形固定資産	<b>9,000</b>	+ 310
無形固定資産	<b>127</b>	▲ 53
投資その他の資産	<b>1,528</b>	▲ 501
<b>資産合計</b>	<b>41,596</b>	+ 2,595

負債の部	2023年3月期	前期末増減
<b>流動負債</b>	<b>8,221</b>	+ 853
支払手形・ 買掛金	<b>2,006</b>	▲ 104
電子記録債務	<b>645</b>	+ 9
短期借入金	<b>320</b>	▲ 20
リース債務	<b>226</b>	+ 129
未払法人税等	<b>865</b>	+ 367
その他	<b>4,158</b>	+ 471
<b>固定負債</b>	<b>1,868</b>	+ 527
<b>純資産</b>	<b>31,506</b>	+ 1,215
(内自己株式) (※)	<b>(▲ 1,476)</b>	(+ 388)
<b>負債・純資産合計</b>	<b>41,596</b>	+ 2,595

※ 2022年2月9日及び2022年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,862百万円の取得を行いました。また、2022年7月28日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式10,800株の処分を行い、2022年11月25日付で自己株式900,000株、2023年2月28日付で550,000株の消却を行いました。この結果、2023年3月期末において自己株式が1,476百万円となっております。

## ●現金・同等物期末残高は1,866百万円増加





世界中の様々な場所で活躍している  
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの  
リーディングカンパニーです

## 2. 2024年3月期業績見通し



株式会社 帝国電機製作所

TEIKOKU

# 2024年3月期業績見通し：売上横ばい、10%減益を想定



株式会社 帝国電機製作所

上期：前期受注残をこなし堅調に推移 下期：足許の受注状況を見て慎重な見通し

(百万円)	2022年3月期 (実績)	構成比 (%)	2023年3月期 (実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	2024年3月期 (計画)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	22,244	100.0	28,450	100.0	+27.9	<b>28,190</b>	100.0	▲0.9
売上原価	13,192	59.3	16,377	57.6	+24.1	<b>16,290</b>	57.8	▲0.5
売上総利益	9,052	40.7	12,073	42.4	+33.4	<b>11,900</b>	42.2	▲1.4
販売費及び 一般管理費	6,557	29.5	7,049	24.8	+7.5	<b>7,380</b>	26.2	+4.7
営業利益	2,494	11.2	5,023	17.7	+101.4	<b>4,520</b>	16.0	▲10.0
経常利益	2,953	13.3	5,472	19.2	+85.3	<b>4,680</b>	16.6	▲14.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,987	8.9	3,996	14.0	+101.1	<b>3,280</b>	11.6	▲17.9

# 2024年3月期業績見通しの前提条件：下期業績を慎重に見込む



株式会社 帝国電機製作所

- ・受注残高は十分確保しているものの、受注環境変調を想定し、下期業績を慎重に見込む。
- ・コスト上昇の継続（原材料価格、人件費等の上昇）、若干の為替円高の影響を想定して減益へ。
- ・主力ポンプ事業の中長期的な環境対策への引き合いは堅調。

セグメント別		
ポンプ事業	全体	<p>（売上）横ばい。            上期：高水準の受注残高を抱え堅調に推移する見込み            下期：インフレ・金利引上げの影響もあり、欧米中心に足許の投資意欲、受注動向の弱含みが影響へ。            （営業利益）10%減益。減収、原材料価格・人件費の上昇等による販管費増加、円高の影響あり。</p>
	日本	<p>・増収、利益横ばい：高水準の受注残高が根拠。            但し、主要顧客の化学業界で素材需要動向や市況の悪化が、今期受注の不安材料。</p>
	欧米	<p>・減収減益：米国では、設備投資環境がインフレによる金利引き上げ等により弱含みだが、見積り引き合いは多く下期の受注回復を見込む。欧州は前期の大型案件が解消で反動減。</p>
	アジア	<p>・中国は増収減益、その他（韓国・インドなど）エリアでは減収減益で、全体で売上横ばい、減益の見通し。            ・中国では、受注は高水準を維持する見込み。他方、韓国・インドでは、前期大型案件の反動減あり、受注減へ。</p>
電子部品事業		<p>・需要は回復傾向にあり増収だが、人件費や原材料価格上昇の影響あり減益の見通し。</p>

為替は、前期実績より若干の円高を想定。

計画為替レート(期中平均)

1US\$=130.0円、1€=135.0円、1元=19.0円、1KRW=0.09円、1INR=1.6円  
 (前期実績レート：1US\$=131.6円、1€=138.2円、1元=19.5円、1KRW=0.1円、1INR=1.7円)

※ インドを除く海外現地法人の決算期は12月（インドは3月）



# 種類別セグメント見通し（売上高・営業利益）



株式会社 帝国電機製作所

- 電子部品事業は、主要取引先三菱電機（株）の自動車機器事業構造改革の動向を注視。  
2024年3月期の業績影響はない見通し。

	(百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)	増減	増減率
ポンプ事業	売上高	26,451	<b>26,150</b>	▲301	▲1.1%
	営業利益 (営業利益率)	4,884 (18.5%)	<b>4,440 (17.0%)</b>	▲444	▲9.1% (▲1.5%)
電子部品事業	売上高	1,757	<b>1,830</b>	+73	+4.2%
	営業利益 (営業利益率)	115 (6.6%)	<b>70 (3.8%)</b>	▲45	▲39.1% (▲2.8)
その他	売上高	242	<b>210</b>	▲32	▲13.2%
	営業利益 (営業利益率)	22 (9.3%)	<b>10 (4.8%)</b>	▲12	▲54.5% (▲4.5%)
合計	売上高	28,450	<b>28,190</b>	▲260	▲0.9%
	営業利益 (営業利益率)	5,023 (17.7%)	<b>4,520 (16.0%)</b>	▲503	▲10.0% (▲1.7%)

- ・日本は、高水準の受注残と為替の影響少なく、増収へ

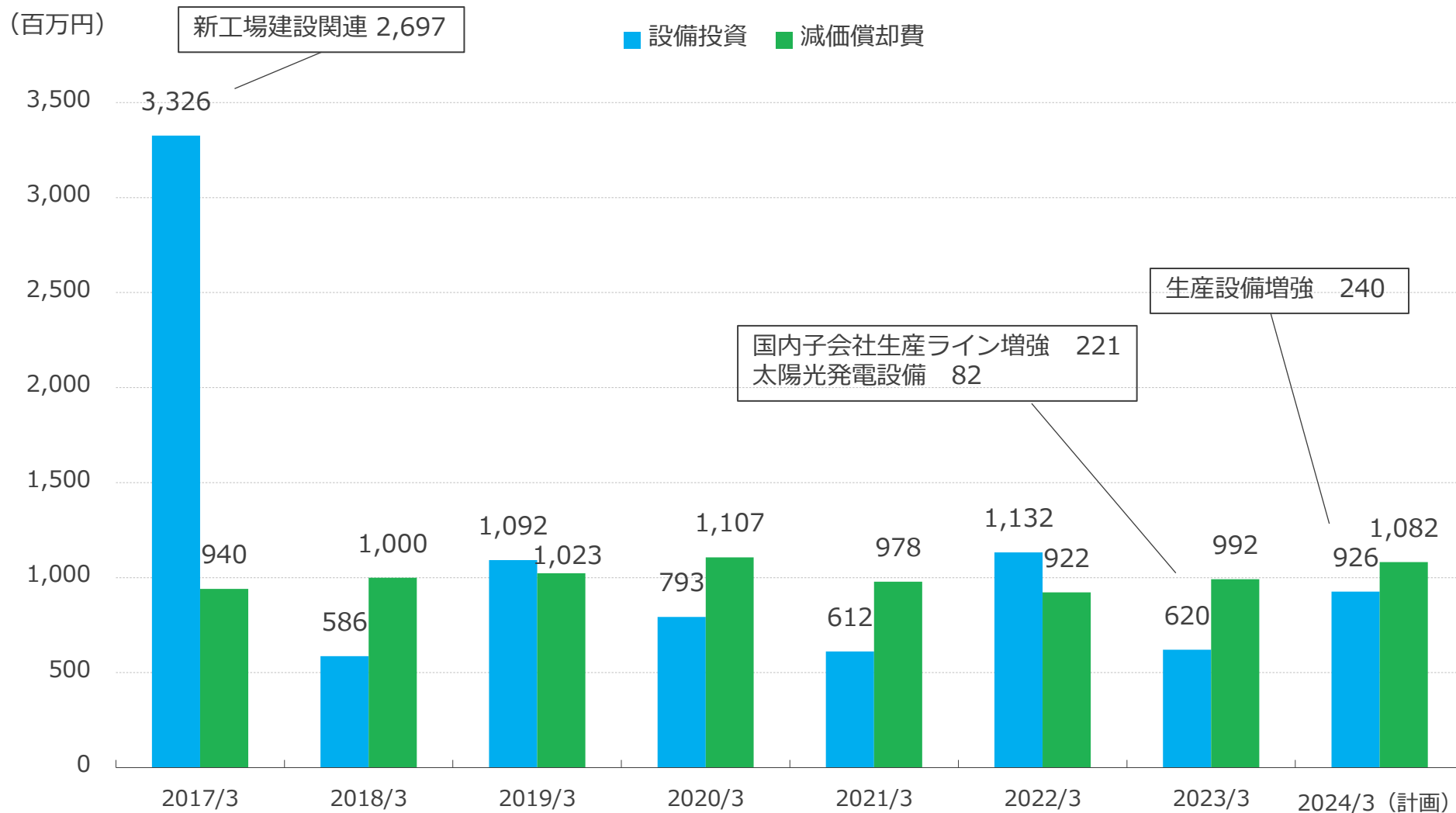
(百万円)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	前期比 (%)	2024年3月期 (予想)	前期比 (%)
日本	6,679	7,372	+10.4	<b>7,480</b>	+1.5
欧米	4,901	6,914	+41.1	<b>6,570</b>	▲5.0
アジア	8,785	12,164	+38.5	<b>12,100</b>	▲0.5
合計	20,365	26,451	+29.9	<b>26,150</b>	▲1.1


※販売元が基準（外部顧客に対する売上でセグメント間は除く）

# 設備投資・減価償却費計画



株式会社 帝国電機製作所





世界中の様々な場所で活躍している  
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの  
リーディングカンパニーです

### 3. 中期経営計画の進捗状況 (2022年3月期～2024年3月期)



株式会社 帝国電機製作所

## 中期ビジョン

- すべてのステークホルダーの満足度向上

## 中期経営計画最終目標（2024年3月期）

- 売上**281.9億円**、営業利益**45.2億円**、ROE**10.5%** (※)
- ESGの積極的推進

※赤文字部分を今回更新

※ROEは総還元性向100%を適用して算定

## 1. 計数計画

(百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績	2024年3月期 前回修正計画	2024年3月期 今回修正計画
受注	19,418	21,900	25,294	24,780	30,261	25,600	29,200
売上	19,910	20,900	22,244	24,740	28,450	25,850	28,190
営業利益	2,262	1,680	2,494	2,940	5,023	3,200	4,520
営業利益率 (%)	11.4	8.0	11.2	11.9	17.7	12.4	16.0
ROE (%)	8.4	—	6.8	—	13.1	8.0	10.5

※ 2021年3月期は、大連修理子会社清算に伴う未払税金の取崩しによる戻入8.6億円を差引くとROE5.1%

※ 赤字部分を今回更新

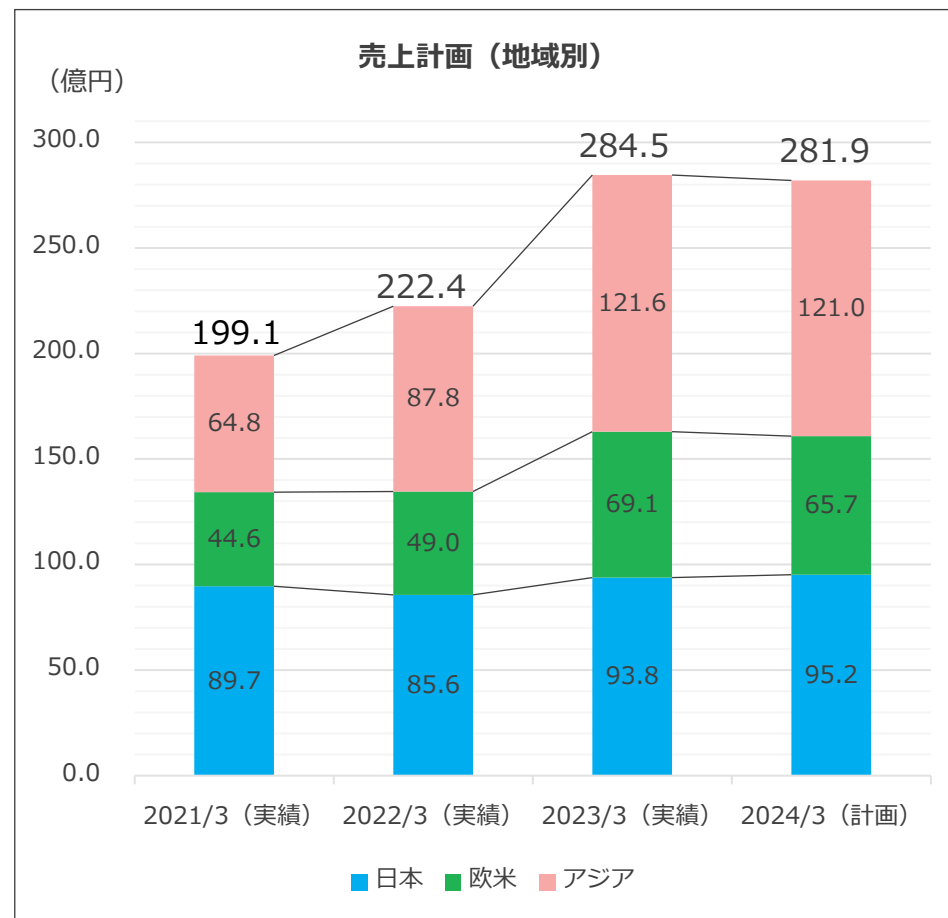
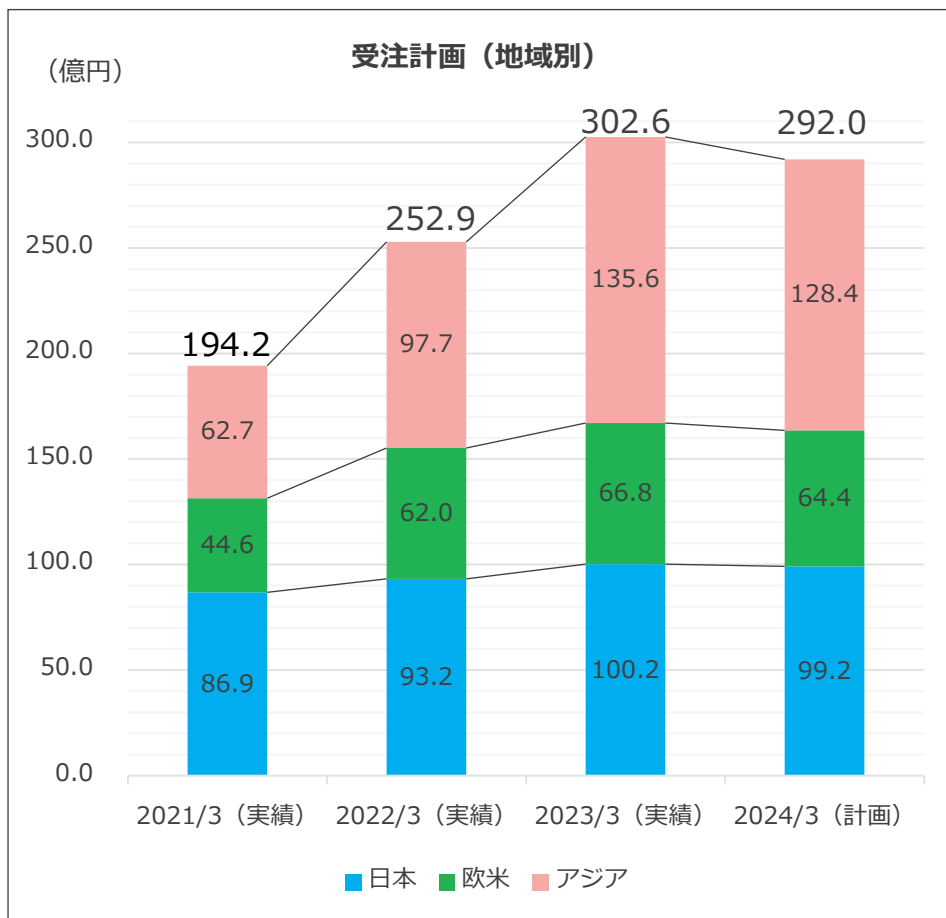
## 2. 主な設備投資計画

(百万円)

	2022年3月期 計画	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画
金額	1,469	1,132	620	926
内容	・技術開発センター移設 ・設備更新・増強等	・技術開発センター移設 461百万円 ・子会社生産ライン効率化 174百万円	・子会社生産ライン増強 221百万円 ・太陽光発電設備 82百万円	・生産設備増強、老朽化 更新等 ・現在進行中の中国子会社 の生産能力増強投資につ いては来期以降に計上予 定（約13億円）

※ 赤字部分を今回更新

- ・ 受注は足許の受注状況を勘案し慎重な見通し



## 基本方針

資本効率の改善と収益力強化の姿勢を明確にするため、現在取組み中の中期経営計画期間（2022年3月期から2024年3月期）のうち、2023年3月期から2024年3月期までの2期について、株主還元を下記のとおり変更

総還元性向 100%（うち配当性向50%）

実施期間 2023年3月期及び2024年3月期の2期の期間

※上記期間終了後に見直し予定

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (計画)
年間配当金	36円	50円	116円	92円
配当性向(連結)	30.5%	48.4%	54.0	50.8
総還元性向（連結）	33.6%	91.4%	100.0	100.0



**中国市場の需要増に対応して、中国子会社の生産能力を40%以上増強へ。  
今夏にも着工、投資総額は13億円超。生産開始は2025年1月から。**

## ①中国子会社

大連帝国キャンドモータポンプ有限公司  
(所在地：中国大連三澗堡工業科技園区)

## ②投資金額

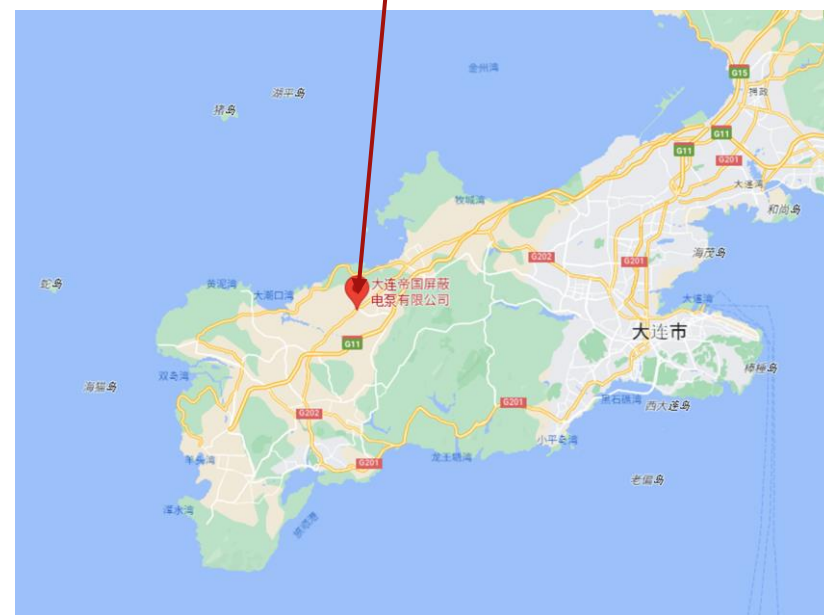
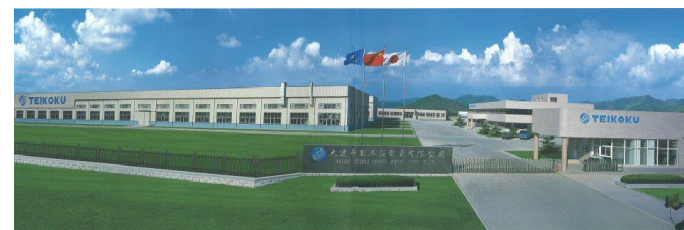
約70百万元 (1元 = 19円換算で1,330百万円)

## ③概要

- ・ 工場の増設・一部改修及び生産管理システム整備
- ・ 生産能力：  
1,400台/月 → 2,000台/月 (+42.8%)

## ⑤スケジュール

2023年8月 工事開始予定  
2024年12月 竣工予定





世界中の様々な場所で活躍している  
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの  
リーディングカンパニーです

## 4. 環境に優しい当社の事業 -キャンドモーターポンプの可能性と当社成長シナリオ-



株式会社 帝国電機製作所

## キャンドモータポンプ

### 社会のキー・コンポーネント

ポンプは効率的な液体移送装置  
社会インフラ構築や成長・発展に不可欠



### 完全無公害（液漏れしない）

環境に優しい機能・構造



当社はキャンドモータポンプの「世界首位シェア」メーカー（※）

（※当社調べ）

「キャンドモータポンプ」で  
社会インフラ構築・成長・発展と環境問題解決の両立可能

当社は、社会貢献度が高いポジショニング

唯一無二「環境に優しい」当社主力製品キャンدمータポンプ  
を社会インフラとして活かす

「環境負担が少ない」 × 「社会のキー・コンポーネント」  
⇒ 高品質の「当社キャンدمータポンプ」

① 既存「製品」の販売促進

- ・ 脱炭素社会への移行
  - ・ Zero-Carbon実現へ
- キャンدمータポンプの販売を促進

×

② 「用途」の拡大

- ・ 液体移送装置として利用可能なシーンで他のポンプからの置き換え
- ・ 環境に優しい液体移送装置として、あらゆる社会（生活）インフラへ

③ 「製品力」の向上

- ・ 更なる高効率化、大型化、耐食性向上

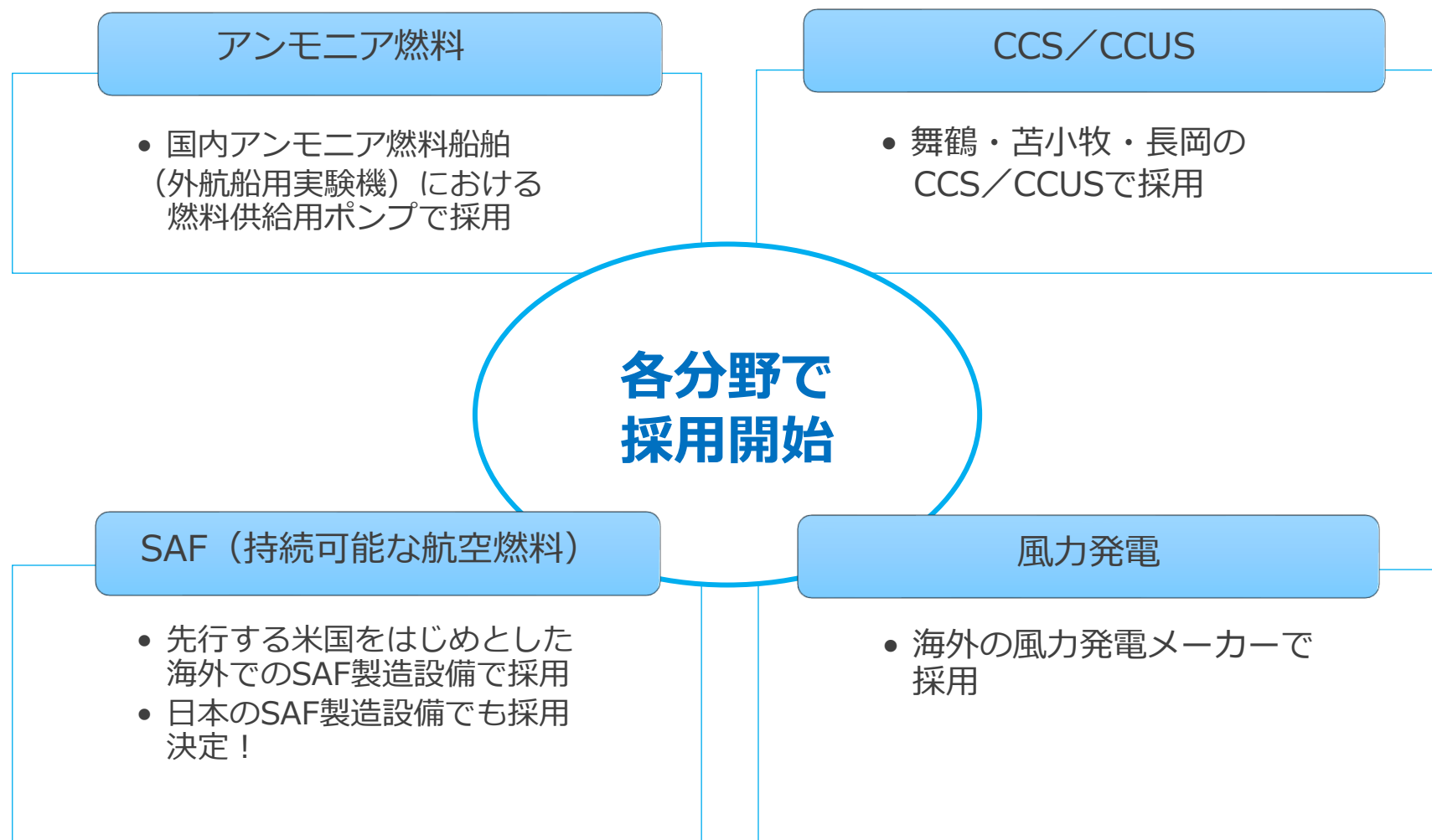
## 数多くの分野で実験を開始、一部実用化も

	実験	実用化	量産化	商業化
ケミカルリサイクルプラント	→			
生分解性プラスチック	→			
バイオマス発電	→			
洋上風力発電	→			
SAF（持続可能な航空燃料）	→			
水素ステーション（付帯設備等）	→			
CCS/CCUS（※）	→			
アンモニア燃料船	→			
石炭火力アンモニア混焼	→			
メタネーション	→			

※CCS：「Carbon dioxide **C**apture and **S**torage」の略語で、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を分離・回収し、地中などに貯留する技術。

※CCUS：「Carbon dioxide **C**apture, **U**talization and **S**torage」を略したもので、回収したCO<sub>2</sub>の貯留に加えて利用しようというもの。

下記は当社受注案件の一部



# 脱炭素テーマのキャンドモータポンプの受注実績



株式会社 帝国電機製作所

(百万円)

分野	2023年3月期
ケミカル関連 (リチウムイオン電池、ケミカルリサイクル、生分解性プラスチック等)	1,143
発電関連 (太陽光、太陽熱、風力、アンモニア混焼火力)	1,045
燃料関連 (航空機・自動車・船舶等の燃料として使用される水素・アンモニア、バイオ燃料等)	378
合計	2,567

今後も多方面の分野での受注に期待

## 製品競争力の強化

### ①生産面

- ・ 部品共通化、モジュール化
- ・ 設計、生産のデジタル化推進

### ②機能面

- ・ ポンプ効率・モータ効率改善
- ・ 産学連携による  
オープンイノベーション推進

### ③価格面

- ・ 設計、生産のデジタル化  
推進でコスト削減

+

## 環境負荷を直接軽減するキャンドモーターポンプの供給責任者 以下を考慮しながら、生産能力拡大へ

- ・ 地政学・政治的リスク

中国は化学プラント向け中心  
これからも有望だが  
もう一つの有望市場である  
米国での生産を増やす

- ・ 生産キャパのリスク

国内需要の高まりに応じて  
国内生産体制強化で対応  
地産地消の観点から  
米国では輸出品だけでなく  
現地生産も視野



## ポンプ事業売上高計画

2024年3月期（現中計最終年度） 売上高261.5億円 ▲1.1%

日本（同 74.8億円、前期比+1.5%）

普及率の高い成熟市場だが、環境意識の高まりで、置き換えや新規需要の増加が期待。増産・設備増強で対応。

+

+

アジア（同121.0億円、▲0.5%）

**中国：** 現地生産法人あり  
環境や製品の信頼性に対する意識が高まり、国産品も一定のプレゼンスあるも、当社の日本ブランド製品に対する需要増が期待可能  
現地工場の増産で対応

### その他アジア地域

： インドは現地生産法人あり、他は販売会社  
今年中にも世界一の人口となる見込みのインド市場の成長を取り込み、現地生産増へ

欧米（同65.7億円、▲5.0%）

**米国：** 現地生産法人あり  
環境意識の高まりで中長期的に需要増が期待可能、当面は日本からの輸出増で対応、中長期的には現地生産増へ


**欧州：** 地元の有力メーカーの浸透力強い

## 当社は、液漏れしない、環境に優しいキャンドモータポンプ世界首位

- ・ 既に環境に優しいキャンドモータポンプには、環境対策から注目が集まっている
- ・ 環境対策は、脱炭素化から環境汚染防止・省資源化まで幅広く、各種環境対策に、液漏れしない、キャンドモータポンプが必要
- ・ 具体的には脱炭素化に利用されるアンモニアなど  
「取扱いが難しい化学物質」を  
「厳しい条件（危険・高温・低温・高圧・真空など）で扱う」必要あり。
- ・ 既に、このようなシーンで、具体的な需要が増加しはじめた

- ・ 環境対策は、社会的課題であり、問題解決は全ての企業が取り組むべき課題
- ・ キャンドモータポンプ普及の加速が現実動きだしてきた。

当社は、環境負荷の軽減に直接貢献する事業者として、国内外のキャンドモータポンプ需要に供給責任者としての立場で応え、企業価値の向上を従来以上に高めていく



世界中の様々な場所で活躍している  
テイコクキャンドモータポンプ

私たちはキャンドモータポンプの  
リーディングカンパニーです

## 5.ご参考資料



株式会社 帝国電機製作所





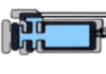
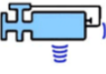
## 顧客・業界のニーズに応じて多様な用途を開発

	基本型	多くの用途で使用されている標準的なタイプ		超耐熱型	高温液向けにモータの耐熱温度を大幅に高めたタイプ
	リバーササーキュレーション型（縦型）	液化ガス等の気化しやすい液体向け（液体アンモニア等で使用）		インタンク（ポット）型	ポンプ部全体が取扱液に浸かるため冷却状態を保持しやすく、低温液化ガス（LNG、液体アンモニア等）で使用
	小型高速型	高速回転を実現化しコンパクト化。半導体洗浄装置や燃料電池、サーバー冷却等で使用		API685用	API685規格に適合したタイプ（高温高圧のハイドロカーボン等で使用）

## ポンプ機能を少ない環境負荷で実現

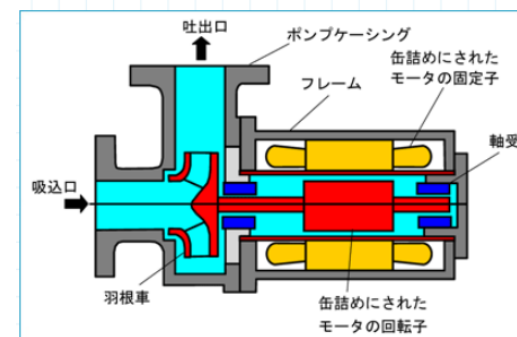
- ・ポンプ機能：液体や気体の動きを運動エネルギーに変える非常に効率的な仕組み
- ・キャンドモータポンプ：  
ポンプとモータが一体化した完全密閉型構造で  
構造的に液漏れしない・長期間メンテナンス不要 → 少ない環境負荷

### \*環境対策に優れた数々の特徴を内包

キャンドモータポンプの優れた特徴		
<b>1 完全無漏洩</b>  取り扱液が外部に漏れるおそれがないので、人体に有害な液、爆発や引火しやすい液、高価な液、腐食性のある液などの取り扱いに適しています。	<b>2 外気との接触なし</b>  外気を吸い込まないので、真空系での運転、外気に触れると変質する液などの取り扱いに適しています。	<b>3 幅広い圧力・温度に対応</b>  軸シールがないので、系の圧力が高い、高温液、低温液、高融点液などを取り扱うポンプの製作が容易です。
<b>4 潤滑油いらす</b>  潤滑油を必要としないので、取り扱い液の汚染がなく、給油の手間が不要です。	<b>5 小型軽量で省スペース</b>  モータ軸がポンプ軸を兼ねているので、小型軽量で設置場所をとらない、分解点検が容易です。	<b>6 静かな運転音</b>  モータを冷却するファンがないので運転音が静かです。

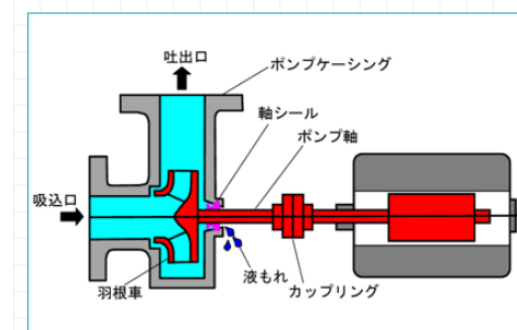
\* 密閉型構造で液漏れせず  
機能・取扱で安心・安全を100%担保

キャンドモータポンプ



ポンプとモータを一体化し、密閉された構造であるため漏洩しません。

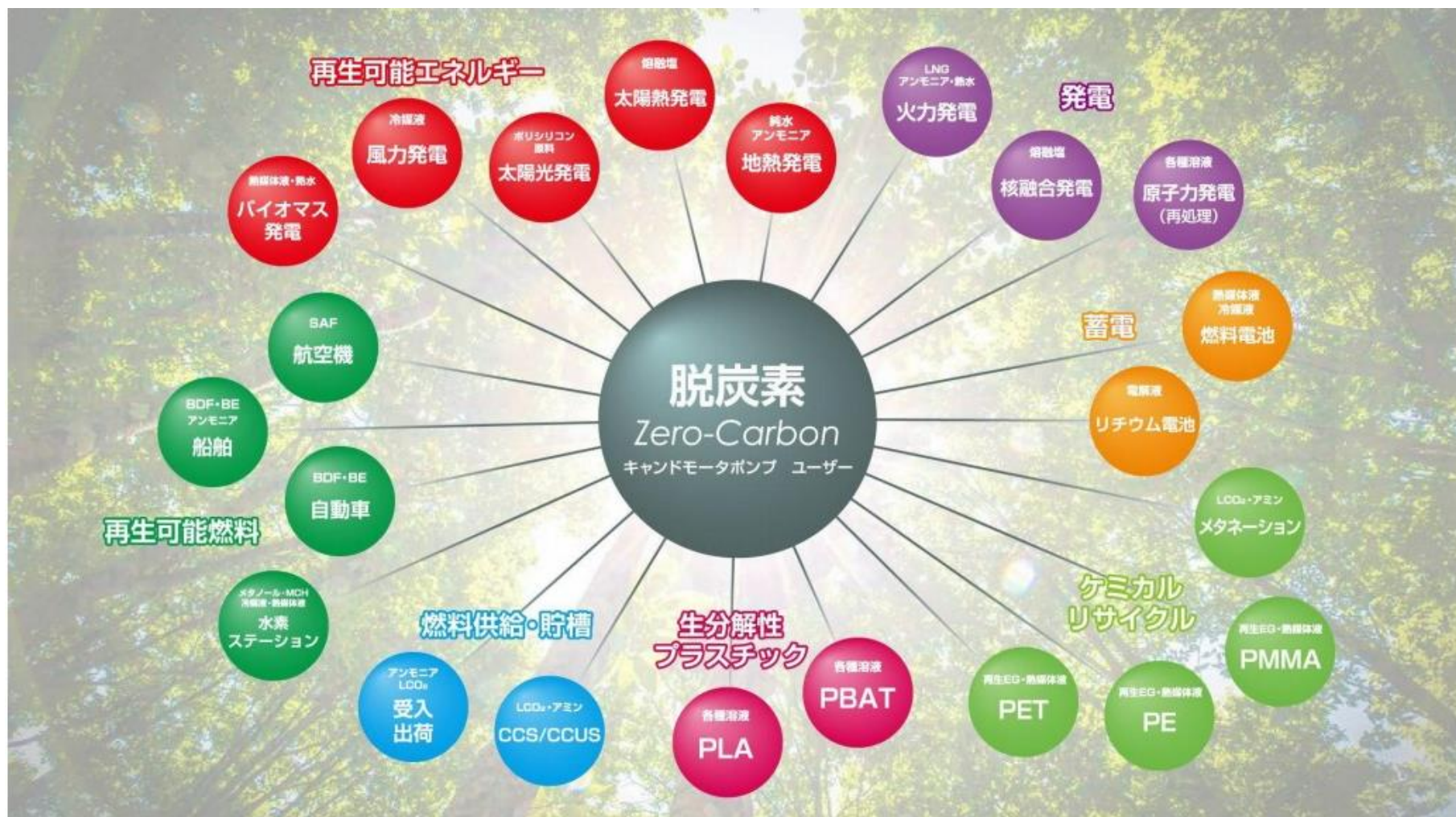
一般的なポンプ



軸シール部から漏洩してしまいます。



## 脱炭素（ゼロカーボン効果）をもたらすエネルギーや化学物質の生成に キャンドモータポンプは不可欠な装置



CO<sub>2</sub>削減プロセスには、「取扱いが難しい物質を厳しい条件下」で扱うことが多い。

→ 厳しい使用条件（危険・高温・低温・高圧・真空など）

→ 液漏れしない、耐久性の高いキャンドモータポンプは「キーパーツ」

用途	難しいコントロールが必要なガス・液体・化学物質の機能
発電	・ 石炭火力発電所（ <b>有毒で刺激臭の強いアンモニア</b> の混焼・専焼）
蓄電	・ 燃料電池（ <b>脱イオンの純水</b> が必要）、リチウム電池（ <b>有毒な電解液</b> を利用）
ケミカルリサイクル 生分解性プラスチック	・ 多種多様な環境（ <b>有毒な液体、高圧の環境、真空の工程</b> など）が求められる。
水素ステーション	・ 水素輸送・貯蔵には、 <b>有毒・危険な物質にして輸送・貯蔵</b> する必要あり。 ・ 水素の充填には <b>冷却用冷媒液</b> が必要。
燃料供給・貯槽	・ CCSには <b>有毒なアミン溶液</b> を利用し、 <b>低温・高圧環境・無漏洩の環境で貯蔵</b> する。
再生可能燃料	・ 船舶（ <b>アンモニア</b> ）、航空機（ <b>バイオ燃料</b> ）、自動車（ <b>水素</b> ）など
再生可能エネルギー	・ 太陽光発電（ <b>毒性の強い原料ポリシリコン</b> ）・地熱発電（ <b>純水と有毒なアンモニア</b> ） ・ 洋上風力発電（ <b>冷媒液の管理・メンテナンス</b> ）

## 完全密閉空間（液漏れしない）の特性

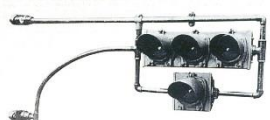
→ 環境対策に必要な化学物質の混合が求められる装置・設備に最適

環境テーマ	導入事例
オゾン層保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温暖化係数が低く、安全なCO2を冷媒として使用する<b>冷凍設備</b></li> <li>・ 脱フロン対策としての<b>代替フロン製造設備</b></li> <li>・ 家電や自動車から回収された<b>フロン類(CFC・HCFC等)の分解処理設備</b></li> <li>・ 火力発電所の排ガスに含まれる<b>CO2を回収するプラント</b></li> </ul>
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水処理場の<b>下水汚泥ガス化発電システム</b></li> <li>・ 太陽光発電のパネルに使用される<b>多結晶シリコン製造設備</b></li> <li>・ 地熱等の熱エネルギーを利用した<b>バイナリー発電装置</b></li> </ul>
バイオ燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市販ガソリンにバイオエタノールを混合するプラント</li> <li>・ LPGやディーゼルの代替となり得る<b>バイオジメチルエーテルの送液設備</b></li> <li>・ パームヤシ殻を主燃料にした、<b>木質バイオマス専焼の発電設備</b></li> </ul>
水質汚濁対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業排水処理用施設で使用する<b>汚水処理装置</b></li> <li>・ 下水汚泥燃料化設備（海に流出した汚泥をすくい取り、汚泥の炭素成分を取り出し 燃料化する）</li> <li>・ 上下水道の浄化システム用<b>オゾン発生装置</b></li> </ul>
大気汚染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石炭からコークスを製造する過程で排出される<b>ガスの脱硫装置</b></li> <li>・ 原油からガソリンを製造する過程で<b>硫黄分を低減するための脱硫装置</b></li> </ul>
土壌汚染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全型農業製品の<b>製造設備</b></li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リチウムイオン電池のセパレータ及びセパレータの<b>原料を製造する設備</b></li> <li>・ リチウムイオン電池の<b>電極の製造設備</b></li> </ul>



当社は完全無漏洩構造のキャンドモータポンプを主力事業として、約半世紀にわたって事業を展開しています。

世界各地の石油化学プラント、ファインケミカル、医薬・食品業界、原子力発電所、変電所等様々な分野で活躍し、数多くの実績と信頼を築いています。



1939年  
帝国電機製作所  
設立

1958年  
A型モータ  
を試作

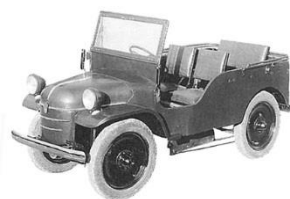
1991年  
初の海外拠点  
となる  
TEIKOKU USA  
INC. を設立

2003年  
TEIKOKU USA  
INC.が米国クレ  
イン社のケミポ  
ンプ事業部を買  
収



2017年  
本社工場  
リニューアル

1947年  
テイコク製電気  
自動車を開発




1960年  
キャンドモータ  
ポンプの開発に  
成功




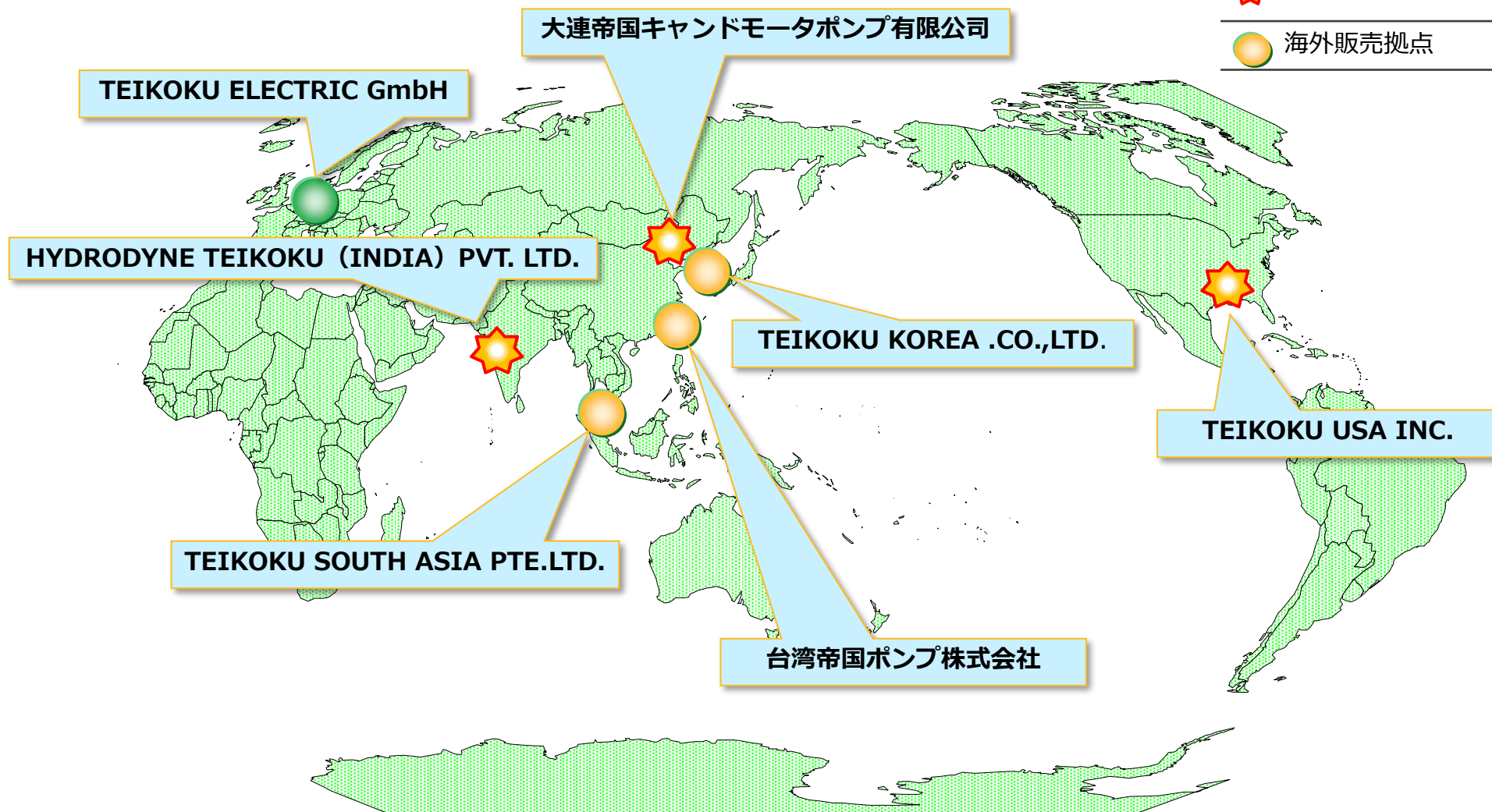
1994年  
中国に大連帝国  
キャンドモータ  
ポンプ有限公司  
を設立

2006年  
東京証券  
取引所市  
場第一部  
に上場

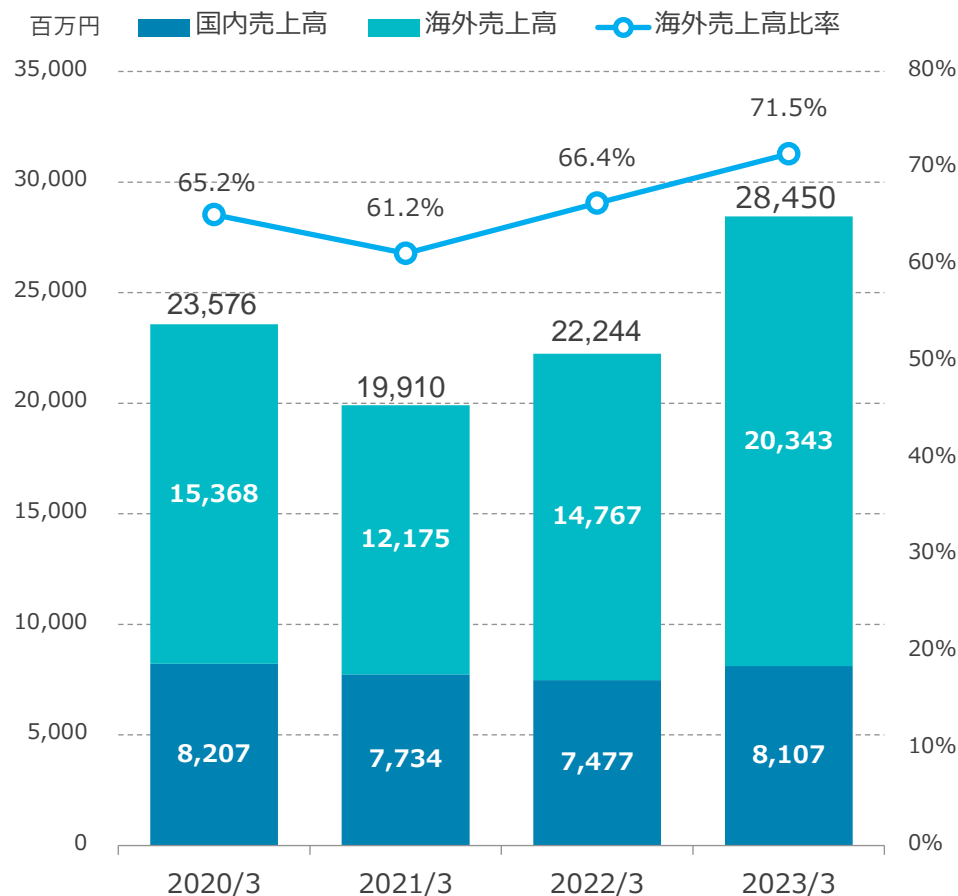
2017年  
インドのHYDRODYNE  
(INDIA)PVT. LTD. を子会社化  
(現・HYDRODYNE  
TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.)

 海外製造・販売拠点

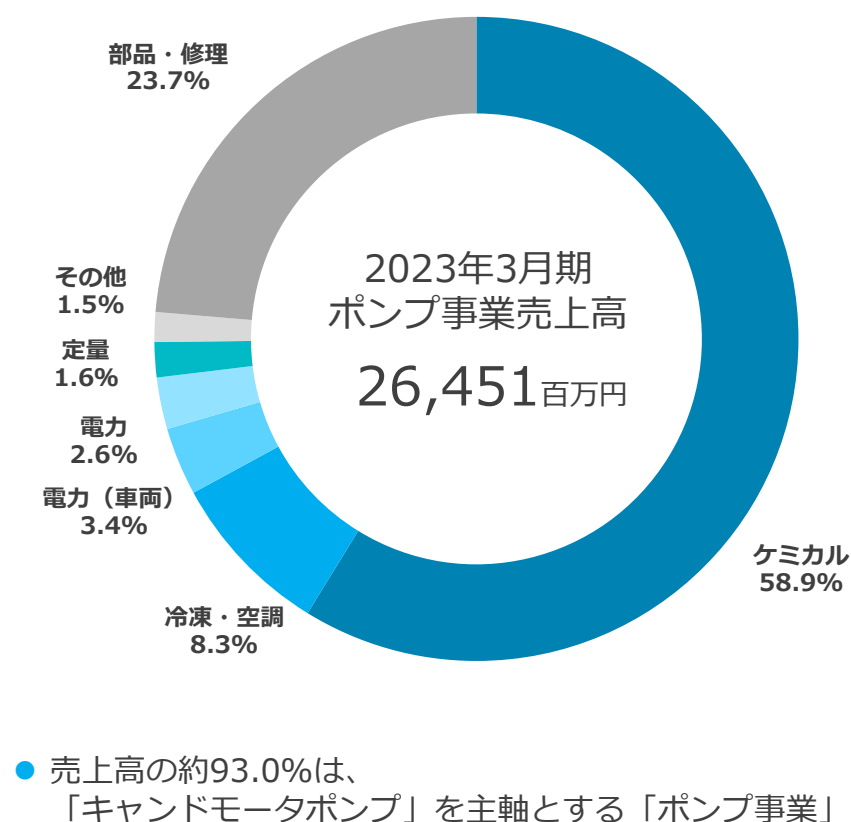
 海外販売拠点

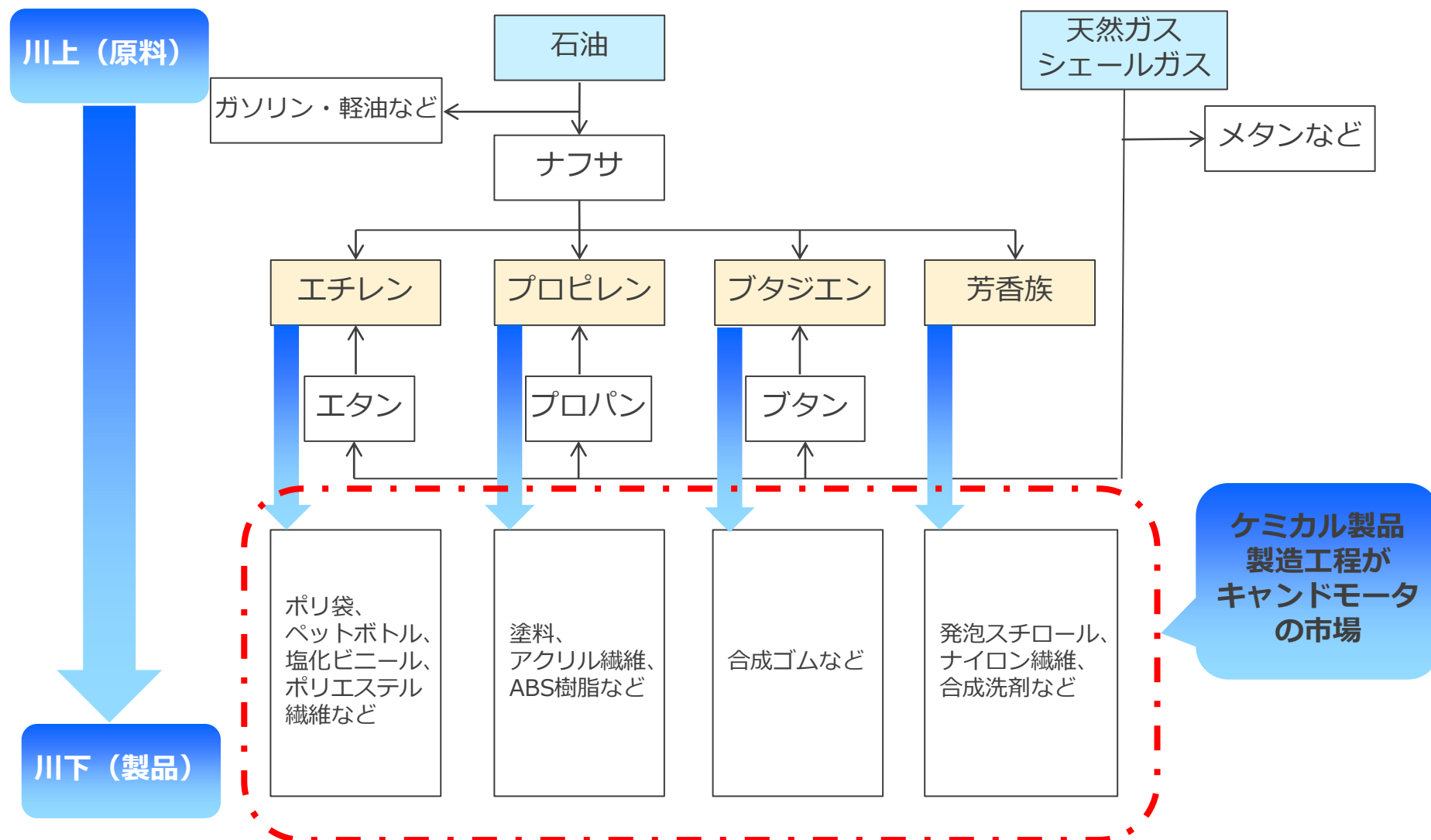


## 国内外売上高比率の推移



## ポンプ用途別売上比率





完全無漏洩という特徴を活かし、石油化学プラント等様々な分野で活躍しています。



電動油ポンプ

変圧器冷却用に使用されています。変電施設の他、すべてのJR新幹線に搭載されています。



キャンدمータポンプ

国際規格API685に準拠したキャンدمータポンプ。高温・高圧に対する耐久性にも優れています。



定量ポンプ

一定量の液体を正確に移送可能なポンプ。用途範囲が広く、薬品業界等で活躍しています。



大型冷凍機・空調機の冷媒の移送においても、当社のキャンدمータポンプが採用されています。



かくはん機

各種槽内の液体を効率よく攪拌でき、石油化学業界のほか、食品業界等でも活躍しています。





モータジェネレータ基板

## 電子部品事業

- 100%子会社平福電機製作所の事業
- 電子部品のプリント基板表面への実装作業中心  
(自動車用・二輪車用85%、産業機械用15%)

### 主力の車載向けに一層注力 (自動車のシステム化・EV化対応)

- 統合ECU (ワイパーや照明等の機能制御機器)
- EPS (電動パワーステアリングシステム)
- SSU (スマートキーレスエントリー)
- モータジェネレータ (車両用発電電動機)
- EV向けモータの回転センサー

### 産業機械向けの拡充 (省力化投資拡大による需要増)

- シーケンサ (PLC) 用電源基板・表示器



## 特集

# くらしの中のティコク

当社の製品は、設備や装置の動力部分に使われているため、一般に目に触れる機会はあまりないと思います。しかし、何気なく利用しているビルや交通機関、また、工場、発電所などにも、当社製品は幅広く活躍しており、快適で便利な暮らしや社会をしっかりと支えています。

### ★ 新幹線

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。



### ★ 工場

石油化学、ファインケミカル、医薬・食品など多様な分野の工場で「キャンドモータポンプ」、「定量ポンプ」、「かくはん機」が使われています。



### ⬢ 大型放射光施設

大型放射光施設 (SPring-8) の加速器施設に「電磁石」が使われています。



### ★ ビル・大型施設

吸収式冷暖房機の冷媒液、吸収液の循環に「吸収式冷暖房機用キャンドモータポンプ」が使われています。



### ★ 変電所

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。



### ★ 発電所

原子力発電所や火力発電所にも当社の「キャンドモータポンプ」が使われています。



### ◇ 自動車

「ETCコントロールユニット」や「キーレスコントロールユニット」など、快適なカーライフを支える便利な機能にもティコクの技術が活かされています。



### ★ オートガススタンド

タクシーなどの燃料として使われるLPGのスタンドにも当社のポンプが活躍しています。



### ⬢ 倉庫

工場や倉庫の天井クレーンなどに「ブレーキモータ」が使われています。



## 過去業績の推移



株式会社 帝国電機製作所

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高 (百万円)	22,264	23,576	19,910	22,244	28,450
営業利益 (百万円)	2,025	3,750	2,262	2,494	5,023
営業利益率 (%)	9.1	15.9	11.4	11.2	17.7
ROE (%)	4.1	12.2	8.4	6.8	13.1
ROA (%)	6.6	11.1	7.1	7.9	13.6
配当性向 (%)	46.7	22.5	30.5	48.4	54.0
受注高 (百万円)	24,893	22,234	19,418	25,294	30,261
受注残高 (百万円)	9,843	8,501	8,010	11,061	12,871



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわないようお願いいたします。